

姉妹都市《鹿児島県指宿市》からの
交換派遣職員を紹介し

皆さんと一緒に がんばります

千歳市環境課環境計画係兼主査付
(カーボンニュートラル推進担当)

主事 田中 蓮さん



田中 蓮 (たなか れん) / 鹿児島県指宿市出身 / 平成 29 年 4 月指宿市役所に入庁し、水道事業部水道課で 3 年間水道料金について、建設部建築課で 3 年間市営住宅についての業務を担当。令和 5 年 4 月より指宿市から派遣職員として 1 年間環境課で勤務。

みなさんの活躍
紹介します

窓

皆さんこんにちは。千歳市環境課に所属しています田中蓮と申します。この度、姉妹都市の鹿児島県指宿市（いぶすきし）から人事交流職員として、千歳市に参りました。前回（令和 2 年度）指宿市から来た人事交流職員の山下（当時商業労働課所属）とは仲が良く、千歳市での体験や魅力について聞いており、今回の派遣の話が出たときは真っ先に希望しました。指宿市は、世界的にも珍しい天然の砂むし温泉が有名で、多くの観光客が訪れています。また、鯉の水揚げが日本有数で、そこで造る高級鯉節のほか生産量日本一のオクラ、そらまめなど多くの特産品がありますので、ぜひ指宿市に遊びに来てください。千歳市には 3 月下旬に来ま

したが、雪もなく、例年より暖かいと聞きました。次の冬には鹿児島では経験できない寒さを体験したいと思えます。また、信号機が縦型であることや市街地にも鹿がいること、建物のつくりなど、私にとっては非常に珍しいことばかりで、日々、新鮮で素晴らしい体験をしております。千歳市では、地球温暖化防止の普及啓発や、温室効果ガスの削減、カーボンニュートラル（二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすること）の推進についての業務に携わっています。環境問題は千歳市と指宿市の共通の課題です。これからの時代、行政だけでなく、市民や企業の皆さんと協働し、より良い社会や環境を創ることが求められているのではないかと思います。皆さんと一緒により良いものを創り、千歳市での経験を指宿市でも生かしたいです。

第8回

文部科学省では、不登校を「病気や経済的な理由以外の何らかの理由（心理・情緒・身体・社会的要因や背景）により、登校しない、あるいはしたくともできない状態にあること」と定めています。登校することができない子どもは学年が上がるごとに増え、長期欠席の最大の理由は、小学生では「病気」なのに対して、中学生では「不登校」が最多となっています。

や緊張をきっかけとした睡眠リズム障害であることなどはよくあります。不登校の理由として、国の調査では「不安・無気力」「生活リズムの乱れ」「他の子どもとの関係」「親子関係」の順に多いとされています。また、NHKの調査では「教員との関係」「いじめ」「部活動」が上位であったとの報告もあります。知的発達症、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症（ADHD）、限局性学習症（読み書き算数が極端に苦手）、発達性協調運動症（運動や手先が極端に不器用）、吃音、虐待された経験などを持つ子は、学校生活にうまく適応するために大変な努力や緊張が必要で、疲れ果てて登校できなくなってしまうこともあります。今回は実際の対応についてお話しします。

先生、教えて!



市立千歳市民病院 地域医療連携課
☎(24)3000 内線 8138

学校に行けない 子どもについて



市立千歳市民病院
小児科診療科長 中本 哲